

総合学科における教育活動の状況

1 青森県立高等学校将来構想検討会議答申等の概要（総合学科に関する事項抜粋）

答申	基本方針	第1期実施計画	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な進路志望に対応できる教育課程の編成や主体的な学習の充実 ○ 生徒のニーズを踏まえた系列の見直し ○ 外部講師等の活用 ○ 生徒のニーズ等を踏まえた学科改編 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型学習による主体的な学習の充実 ○ 生徒のニーズ等を踏まえた系列の見直し ○ 社会人や地域の有識者の活用 ○ 学科改編については、生徒のニーズ等を踏まえ検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の課題研究における成果等の共有による特色ある教育活動の充実 ○ 地域の社会人や有識者の積極的な活用 ○ 系列の在り方について各校との検討・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期実施計画どおり実施 ・ 研究発表会の開催による研究成果等の共有 ・ 各校で外部講師等の活用による特色ある教育活動の実施 ・ 七戸高校の学級減に伴う食品科学系列の見直し（令和2年度廃止）

2 総合学科における教育活動の取組状況

(1) 青森県総合学科高等学校研究発表会

- 県内の総合学科で学ぶ生徒が一堂に会し、日頃の学習や研究における活動成果を発表することを通して、自ら学び、研鑽していこうとする態度を育てることを目的として研究発表会を開催している。

(2) 青森中央高校の取組

- 総合的な探究の時間を「あすなる学」と名付け、行政・地域・大学と連携した実践活動を通じて、生徒による社会提言及び社会貢献により、生きる力を育み、社会人としての責任感を育成することを目標に探究活動を行っている。

【取組事例】

3年次の課題研究において、青森大学教授から研究の進め方に関する講義を受けるなど、連携大学から研究活動に対する助言・指導をいただきながら探究活動を進め、その研究成果をまとめ、生徒学習成果発表会において発表している。

(3) 大湊高校の取組

- 2年次の「総合的な探究の時間」において、地域の文化・自然・産業を多角的な視点で考え、郷土に対して関心を深めること等を目的に、外部講師を活用した取組を実践している。

【取組事例】

むつ市ジオパーク推進課職員を講師として、地域資源であるジオサイトや下北の海に関する事前学習を行った上で、実際にジオサイトを見学することで地域資源に対する理解を深めている。また、北海道大学から研究の進め方等について、助言・指導をいただきながら研究活動を進め、その研究成果をまとめ、校内発表会において発表している。